



スマホ・ケイタイの安全教室を行いました

6月1日（金）に（公財）人権教育啓発推進センター特別研究員（千斗枝グローバル教育研究所 代表）の山中 千枝子氏をお招きして、スマホ・ケイタイの安全教室を行いました。山中先生からは、スマホゲームの依存やスマホの脳への影響や SNS のトラブルなどの話をお聞きしました。その中で「スマホは知性と理性を育てる最強のメディア。ルールを守って、親子で話し合いながら段階的に使用すること」という話を伺いました。



【生徒の感想】

「スマホを体のところに当てたらガンになるのが一番衝撃的だった。」

「スマホの電磁波で病気になることを初めて知りました。」

「長時間スマホを使っていたら自分の命が危ないことが分かりました。」

「興味深いはなしだった。中毒の怖さが分かった。」

「スマホは電磁波が強くてガンになりやすくなるということが分かった。9時以降は使わないように努力します。」

「ゲーム中毒になる人が増えてきていることが分かった。ブルーライトが危ないことは知っていたが、ガンになりやすいことが分かってスマホを使いうのが怖くなった。」

「ケイタイを使う時のルールが分かった。コミュニケーションをネットだけでとることは怖いことだと思った。」

「今、結構スマホを触っている時間が長いので、時間を決めてやろうと思いました。」

「ケイタイの使用については前から気を付けようと思っていたけれど、今回からより一層気を付けてケイタイを使用したいと思った。自分もずーとスマホのゲームをしているので今日から自重して使用を控えようと思いました。」